

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術V	1	30	1	専任教員（公益社団法人 地域医療振興協会に委託）
ねらい	診療に伴う援助技術である治療・検査技術、及び呼吸・循環を整える技術を習得する。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 感染予防の技術 1) 感染防止の基礎知識 2) 標準予防策	講義		
2回目	2) 感染予防対策の実際～个人防护用具・針刺し事故防止・ 感染経路別予防策	講義		
3回目	3) 洗浄・消毒・滅菌 4) 感染性廃棄物の取扱い	講義		
4回目	5) 無菌操作	演習		
5回目	6) 手洗い・个人防护用具の取扱い・滅菌手袋の取扱い	演習		
6回目	2. 診療・検査に伴う技術 1) 症状生体管理技術 2) 検体検査の基礎知識	講義		
7回目	4) 生体情報のモニタリング 4) 検体検査(静脈血採血以外)	講義		
8・9回目	5) 静脈血採血の実際・デモンストレーション 6) 静脈血採血の実施～シリンジ採血・真空管採血	講義・演習 演習		
10回目	3. 呼吸・循環を整える技術 1) 酸素吸入療法	講義		
11回目	2) 排痰ケア 3) 胸腔ドレナージ 4) 吸引	講義		
12・13回目	4) 酸素吸入・一次的吸引の実施	講義・演習		
14回目	5) 体温管理の技術	演習		
14.5回目 (45分)	6) 末梢循環促進ケア	講義		
15回目 (45分)	終講試験	試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護技術 I (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術 II (医学書院) 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分】: 100点)			
備考	演習ではシミュレーターを使用した静脈血採血・痰の一次的吸引や、酸素ボンベの取扱いなど、また感染予防の技術として、手洗い・無菌操作を行います。既習の知識(解剖生理学・他の基礎看護学)を関連付けて、根拠のある看護を考え実践できるように、知識・技術・態度を習得しましょう。			

